



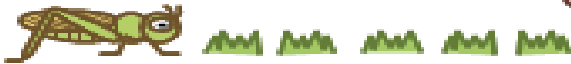
助産師レター



滋賀県看護協会助産師職能委員会 VOL. 29 平成 27 年 9 月

初秋の候、朝夕めっきり涼しくなってきました。体調管理には十分に気を付けていきましょう。今年度も、助産師レターで様々な情報を発信していきます。ぜひ、ご活用していただきたいと思います。

職能委員長会議報告



平成 27 年 8 月 3 日

青山ダイヤモンドホールにて開催

午前中の全体会議では、坂本すが会長や執行部より、平成 27 年度の重点政策・重点事業の説明がありました。日本の看護界は政策提言を行い、国を動かす力を持っていることに、中国や韓国が衝撃を受けられたということです。さらに、本年度 6 月に協会より表明された「看護の将来ビジョン」を会員全員が熟読し、2025 年に向けて自分たちの指針として欲しいということでした。その他には、平成 29 年度から会員の継続手続きが簡単になることや、特定行為に係る看護師の研修制度について説明がありました。詳細は日本看護協会ホームページにも掲載されていますのでご覧下さい。

午後からの助産師職能委員長会では、福井トシ子理事より、7 月に開催された第 11 回 ICM アジア太平洋地域会議・助産学術集会は 37 か国、3206 名の参加があり、盛大に開催することが出来たお礼が述べられました。

そのあと、平成 26 年度助産関連事業の成果、27 年度の重点政策・重点事業の報告がありました。昨年度の成果としては、助産師出向支援モデル事業がメニュー化したことで、導入事業ガイドラインが作成され、コーディネーター養成研修も実施されました。さらに、現在申請中である助産実践能力習熟段階クリニカルラダー (CloCMiP) レベルⅢ認証に対して、認知度の普及や申請支援に取り組まれてきた活動が報告されました。

今年度の重点事業の中で、少子社会に対する助産ケア提供体制の整備があります。それに因んで、大阪府立母子保健センター母性外来の看護師長より「社会的

ハイリスク妊娠の把握と支援」というテーマで課題提供がありました。その中では、妊娠初期から地域保健・福祉行政との連携の重要性を示されていました。

地域社会で母子を取り巻く環境に目を向けながら、助産師としての私たちのケアが全ての妊産褥婦・新生児に提供できるように一緒に活動しましょう。

(委員長：吉岡 千晴)

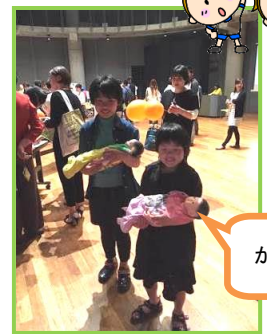


看護フェア「看護の日」

平成 27 年 5 月 10 日

栗東芸術文化会館ささらにて看護フェアが開催

助産師職能では来場者に妊婦体験や赤ちゃんの抱っこ体験をしていただきました。



高校生進路説明・相談会

平成 27 年 7 月 24 日

近江八幡市 GNETしがにて開催

高校生を対象とした進路相談会がありました。約 20 名ほどの相談があり助産師になるにはどういう進路を進めばいいのかという事や奨学金などについての質問がありました。相談ブースには分娩介助場面の写真パネルや分娩された方々のメッセージ集を展示し、相談に来られた高校生は興味津々の様子でした。(出石 万希子)

平成 27 年度助産師キャリアアップ 応援事業研修



第 1 回開催 平成 27 年 7 月 3 日

滋賀医科大学医学部附属病医院 1 F D 棟 多目的室

研修目的は「助産技術のレベルアップ、卒後のリアリティショックの緩和、新人同士の交流、助産師リーダーレベル新人、レベル I のマタニティケア能力が理解できる」です。

午前中は開講式に続いて助産師リーダー、マタニティケア能力の説明を受け、1 年間の到達目標を確認しました。その後「どんな助産師になりたいか」をテーマに話し合いました。グループワークでは助産師になった動機、目指す助産師と現在の状況とのギャップ、どうしていくか等自由に、楽しそうに話されていました。午後は新生児蘇生法の講義を受け新生児アルゴリズムに沿って蘇生法の習得に熱心に取り組まれました。第 1 回目は日々の助産業務から開放されてリラックスしながら、お互いの交流を深められていました。

(岡本 美佐江)

実践に活かそう！NEW 産科マネジメント

平成 27 年 7 月 29 日～30 日

日本看護協会 神戸研修センター

この研修では周産期医療における現状と助産師の実践能力を把握し、自分の所属施設の強みを活かした人材の育成や目標の設定、いかにモチベーションを保てるような目標を設定するかなど管理者として必要なマネジメント能力について学びました。また、演習では各施設の実践したい助産ケアを充実させるために、助産師の必要人数の計算をしてみたのですが、理想とする助産ケアを実践しようとするほとんどの施設で助産師は足りませんでした。東京ディズニーランドで人材活用についてマネジメントされていた大住力氏の講義はユーモアを交えながら人と人とのつながりや、コミュニケーションをとることの大切さを教えられました。

(前川 孝枝)



第 11 回 ICM 大会

アジア太平洋地域会議・助産学術集会

平成 27 年 7 月 20 日 ～ 22 日 3 日間

パシフィコ横浜で開催。37 か国から 3206 名の参加がありました。日本からは 2836 名の参加であり、おおよそ日本の助産師 11 人に 1 人が参加したことになります。

開会式は秋篠宮妃殿下紀子様をお迎えして、盛大に行われました。ご挨拶は妃殿下のご出産の体験も盛り込まれ、助産師のケアや母子手帳の大切さを流暢な英語でスピーチをされました。

3 日間、市民公開講座、基調講演、シンポジウム、パネルディスカッションなど盛りだくさんの内容で、多くの示唆を得ることができました。

滋賀県助産師職能委員会からは「妊産婦利用タクシー『ゆりかごタクシー』登録・利用者への調査」のポスター発表をさせていただきました。国際学会で貴重な経験ができたことは大変光栄でした。今後も職能委員会の活動として、ゆりかごタクシー運行の協力にて、妊産婦さんのための活動をしていきたいと思っております。

(吉岡 千晴)



～研修のお知らせ～

平成 27 年 10 月 3 日 (土) 13:00～16:30

大阪レモンホールにて助産師実践能力強化研修

「助産師の原点にもどる」が行われます。

たくさんのご参加お待ちしております。

お申し込み：滋賀県看護協会 ホームページ掲載中

<編集後記>

今年度から助産師職能委員長を就任致しました。

前任の職能の方々が築いてこられました滋賀県の活動をしっかり受けつないでいきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いたします。(吉岡千晴)